

# 中国衛生防疫メカニズムの近代的発展と性格

余新忠（南開大学）

## 【発表要旨】

本発表では、現在の日常生活における衛生のイメージ及び中国衛生防疫の歴史を観察・整理することによって、中国近代衛生メカニズムの性格を探求しようとする。これまでの衛生防疫に関する観念と行為を整理することにより、近代以後の、回避から防疫へ、個人から公共へ、という中国の衛生防疫史の発展を観察する。さらに近代的衛生メカニズムを整理することによって、衛生の異なる側面を捉えようとする。西洋から輸入してきた現代の「衛生」メカニズムは、文明の進歩を示す「現代」という美しい外見を持っているだけでなく、隅々まで浸透してきた権力のように、人々の日常生活まで左右している。文明が進歩している「現代」において、「衛生」が私たちにもたらしたのは、秩序があり、清潔でより快適な生活環境と疫病感染率の減少のほか、政治と文化的覇権と権力、ある程度の不公平と不正義、また身体に対する勝手な監視と拘束もある。こうした批判と省察は、現在中国国内の衛生史研究で行われている現代的叙述の枠組みを打ち破ることを狙うと同時に、現在と将来の中国における衛生建設の道を矯正する際に参照できる歴史的材料を提供したい。さらに、発展と強盛を強調するあまり、むしろ民衆利益の保障を軽視しがちになり、長い目で見れば中華民族の未来の発展に決して福音ではないことも表明したい。

## 【略歴】

余新忠／Yu Xinzhong

浙江省臨安出身。南開大学歴史学博士。京都大学（日本）博士研究員を経て、現在南開大学歴史学院教授兼副院長、中国社会史学会副会長、幹事長などを担当。研究領域：中国医療社会文学史、明清時代の社会史研究。『清代江南地域における疫病と社会』、『清代衛生防疫メカニズムと近代的変遷』を著すほか、『歴史研究』、*Chinese Studies in History*、『東洋史研究』などの刊行物で90篇以上の中・英・日本語の論文がある。また、国家社会科学重大研究項目「宗元以来中医学における知識の発展と現代中医学の形成の研究」のホスト、長江学者奨励計画、国家「百千万人材工程」など数多くの国家級人材項目に入選、全国優秀博士論文賞、「国家哲学社会科学文庫」賞と教育部人文社会科学優秀成果賞一等賞、二等賞など受賞多数。